



こんな災害を想定します

想定 1

9月5日(日)午前8時頃、三陸沖を震源とするマグニチュード8.7、震度6弱の大地震が発生。気象庁から沿岸部に大津波警報が発表された。予想される津波の高さは波高10m、津波到達予定時刻は、午前8時半である。

想定 2

前日から続く大雨で河川氾濫や土砂災害の危険性が高い。

山田町総合防災訓練

5日(日)の朝に 大津波警報が発表 高台へ逃げてください

9月1日は「防災の日」。町ではこの日にちなみ毎年9月の第一日曜日に総合防災訓練を行っています。今年も5日に行いますので、津波避難訓練など皆さんの積極的な参加をお願いします。本町に甚大な被害をもたらした東日本大震災以降も全国各地で地震が発生、台風や大雨の影響で土砂災害や浸水害なども毎年発生しています。避難訓練はあらゆる災害に共通するものです。普段から避難場所や避難経路を確認し、緊急時に落ち着いて行動できるように訓練に参加しましょう。

【※新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況により訓練を延期する場合があります。】

津波避難訓練に参加を

今年の防災訓練は上記2つの「大地震・大津波」と「河川氾濫や土砂災害」を想定して行います。訓練内容は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため規模を縮小し、避難所の設置と運営訓練を重点に行います。

家族でしっかりと 避難経路など確認

町民の皆さんが対象となります。津波避難訓練と避難所開設運営訓練です。万が一の災害に備えて、家族みんなで訓練に参



普段から避難看板などを確認して、避難経路や避難先を把握しましょう



①姿勢を低く

ご存知ですか

自身を守る行動訓練

「シェイクアウト」

「岩手県避難所マップ」の活用を

県では、災害時の迅速な避難と新型コロナウイルス感染症の感染対策を両立させるため、避難所の混雑状況などをインターネットで確認できる地図「岩手県避難所マップ」を公開しました。県内の災害や防災情報を発信しているインターネットのサイト「いわて防災情報ポータル」内に掲載され、下記QRコードから確認できます。

県内の避難所情報が掲載されていますので、外出時に災害が発生しても、近くの避難所を検索できます。日ごろの避難所の位置や避難経路の確認に活用しましょう。



東日本大震災直後の町の様子。自然災害の恐ろしさを忘れず、万が一に備えましょう

◆訓練当日の流れ

時間	想定内容	情報伝達方法	皆さんがとるべき行動
午前8時	大地震発生	防災行政無線の「訓練、ただいま当地方に強い地震がありました。今後の情報に注意してください」という放送により、地震発生を伝え、訓練を開始します。	身の安全を確保しつつ、津波に備え、避難準備をしましょう。
午前8時6分	大津波警報発表	防災行政無線、サイレン、緊急速報メールにより、避難指示を伝えます。	最寄りの避難場所へ速やかに避難を開始し、避難指示が解除されるまで避難場所にとどまりましょう。
午前8時40分	大津波警報解除	防災行政無線、緊急速報メールにより、避難指示解除を伝えます。	津波避難訓練を終了します。気をつけてお帰りください。

加し、避難経路と避難場所などを確認しましょう。東日本大震災から10年が経ち、津波を知らない世代もいます。津波の恐ろしさをしっかりと伝えるなど、これを機に家族で防災について話し合い、認識を深めましょう。

- ▽場所 中央公園向かい区画整理地内
- ▽内容 消防団による土砂災害からの救出救助訓練

■救出救助訓練(午前8時50分)

当日は、防災関係機関による偵察訓練や土砂災害を想定した救出救助訓練も行われます。観覧時は、マスクを着用するなど、感染症対策をお願いします。

関係機関では偵察訓練など行います

新型コロナウイルス感染症がまん延する状況を踏まえ、感染拡大防止に留意した避難所開設運営訓練を行います。

■コロナ対応の避難所開設運営訓練

津波避難訓練を上記の流れで行います。防災行政無線や携帯電話の緊急速報メールで地震発生を伝えますので、高台などの避難場所に避難してください。訓練の想定に該当しない地域の人も、地域周辺で発生する災害を想定した避難訓練の場として、積極的に参加しましょう。

◆問い合わせ 町総務課危機管理室(☎82-31111内線415)へどうぞ。

シエイクアウト(安全確保行動訓練)とは、地震発生時に、自ら身を守る右記の3つの行動を一齐に行う訓練です。
自宅や事業所などで誰でも参加できる訓練ですので、地震発生想定時間の午前8時頃に各自でシエイクアウトを実践してみましょう。



③揺れが収まるまでじっとする



②頭や体を守り

画像提供：効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議